

代表者名	藤井 征生	所管部課名	産業経済労働部観光課
所在地	小坂町十和田湖字鉛山無番地	設立年月日	平成9年12月5日

【沿革、及び、県の出資理由】

歴史的・文化的価値の高い十和田ホテルを後世に伝えるとともに、同ホテルの効率的な運営を図り、もって十和田地域の観光の振興に寄与することを目的に県等の出資により平成9年12月設立。

【出資者】(13年度末) (百万円、%)

区分	団体数	出資額	構成比
秋田県	1	100	40.0
市町村	3	25	10.0
その他	16	125	50.0
計	20	250	100.0

【事業】

主たる業務

十和田ホテルの諸施設の管理運営業務
酒類、食料品、土産物等の販売
上記各号に付帯する一切の業務

事業実績 (人)

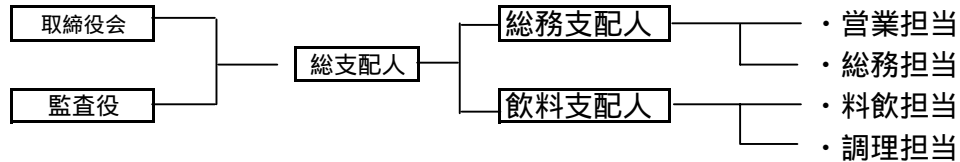
事業名等	11年度	12年度	13年度
宿泊客	20,097	17,647	17,471

13年度事業概要、及び、14年度事業計画・目標

13年度売上高は前年比3.5%増の319百万円、当期利益は前年比52.6%増の800万円と好調であった。14年度は需要の低迷をはじめ価格競争の激化など取り巻く環境を踏まえ、宿泊人員目標17,350人(前年実績比-0.7%)、売上高は310百万円(前年実績比-2.7%)と設定している。

【組織】

運営機構



役員数 (人)

	取締役	監査役
常勤	1	
内、県OB		
非常勤	8	1
内、県OB		
内、県職員	1	
計	9	1
内、県関係者	1	

職員数 (人)

	人数	備考
正職員	3	正職員 平均年齢 30.0歳
内、県OB		
出向職員	2	正職員 平均勤続年数 2.0年
内、県職員		
臨時・嘱託	20	
内、県OB		
計	25	
内、県関係者		

【財務】

損益状況(13年度) (百万円)

	金額
経常収入 A	319
受託事業収入	
補助金収入	
自主事業収入	319
運用益収入	
その他	
経常支出 B	311
人件費	
その他	
経常損益 C = A - B	8
経常外収入	
経常外支出	
当期損益	8

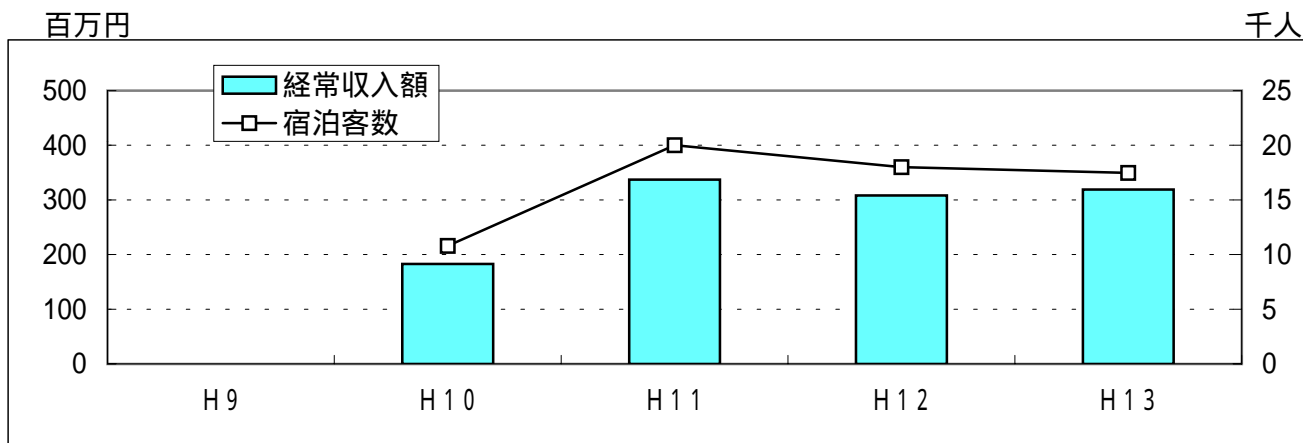
財務状況(13年度末) (百万円、%)

	金額	構成比
流動資産	118	80.3
固定資産	29	19.7
資産計	147	100.0
流動負債	10	6.8
短期借入金		
固定負債		
長期借入金		
引当金等	10	6.8
負債計	20	13.6
資本金	250	170.1
剰余金	-123	-83.7
資本計	127	86.4
負債・資本計	147	100.0

【県の財政支出】 (千円)

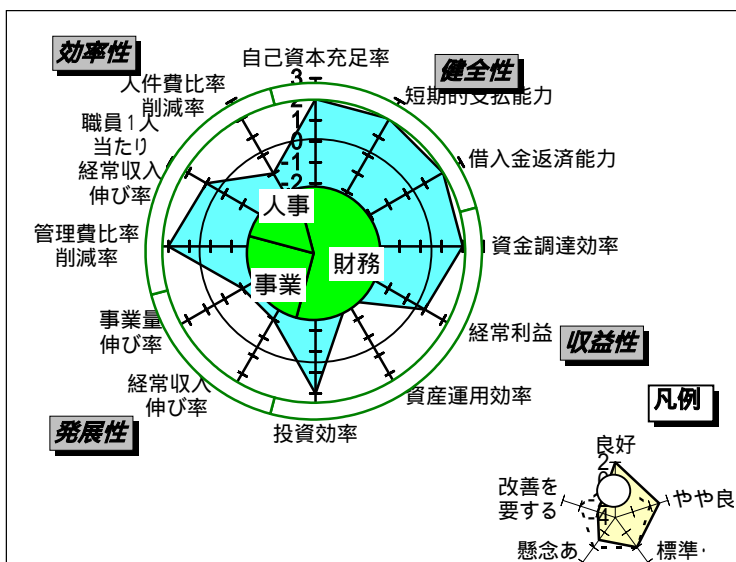
	11年度	12年度	13年度	支出目的・対象事業概要等
補助金				
委託費				
貸付残高				

【事業等の推移】(過去5年度)



【諸比率等】(平成13年度) 【各評価項目レーダーチャート】

自己資本比率	86.22 %
流動比率	1,101.16 %
借入金返済年数	- 年
支払利息比率	- %
経常利益率	2.55 %
総資本回転率	2.16 回
総資本利益率	5.51 %
経常収入額	319,329 千円
事業量(宿泊客数)	175 百人
管理費比率	9.54 %
職員1人当り経常収入額	53,222 千円
人件費比率	25.24 %



【経営概況、経営上の課題・問題点等】

今後の課題としては、雇用や所得の不安から旅行の需要の低迷が予想され、かつ価格競争も一段と激化する環境を鑑み、個人客に重点をおいた販売戦略の継続に加え、良心的な商品提供による顧客信頼度の確立が肝要である。また、極寒の冬季4カ年を経過し、冰雪による施設の傷みが数多く発生するようになった。維持管理の費用が拡大するばかりでなく、修繕の度合いによって巨額の費用が必要となることが懸念される。

【経営評価】

概ね安定した経営内容	一層の努力を要する経営内容
経営環境が厳しい中、当初計画どおり2期連続黒字経営を実現していることは評価できる。更に経営改善を促進し、累積損失の解消に努める必要がある。	